



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「例会は出席第一」

国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」 Jennifer Jones (オーストラリア)
 アジア太平洋地域会長主題 「アクション！」 田中 博之 (東京多摩みなみ)
 西日本区理事主題 「風となれ、ひかりとなれ」 戸所 岩雄 (彦根シャトー)
 中部部長主題 「輪を拡げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
 小林 滋記 (名古屋南山)

名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

——— 今月の聖句 ———

「ともし火をともし、それを穴蔵の中や、升の下に置く者はいない。入って来る人に光が見えるように、燭台の上に置く。あなたの体のともし火は目である。目が澄んでいけば、あなたの全身が明るい、濁っていれば、体も暗い。だから、あなたの中にある光が消えていないか調べなさい。あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちょうど、ともし火がその輝きであなただけを照らすときのように、全身は輝いている。」

強調月間 BF・EF

10月例会等ご案内

◎10月第1例会

日程：10月10日（木）18：45～
 会場：ラーススANN 2F
 担当：大島孝三郎君
 開会宣言・点鐘：山村喜久会長
 ワイズソング
 5つの信条：神谷正博君
 食前感謝：松本 勝君
 一会 食一
 卓話：『転ばない、膝の痛みを
 予防する歩き方』
 講師：清水昌一氏
 足と靴の科学研究所代表取締役
 諸連絡
 閉会宣言・点鐘：山村喜久会長

◎10月第2例会

日程：10月17日（木）19：00～20：30
 会場：名古屋YMCA

◎YMCA国際協力街頭募金
 日程：10月6日（日）13：00～15：00
 会場：栄ラシック前集合

◎根の上まつり
 日時：10月14日（月・祝）10：30～15：00
 場所：根の上キャンプ場
 会費：3,500円、カップル7,000円

◎YMCAバザー
 日時：10月27日（日）10：00～15：00
 場所：南山YMCA
 メンバー集合：9時

◎チャリティーラン
 日時：11月2日（土）10：00～

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を果たそう
- 四. 例会には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう
- 五. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう

【出席率】 9月末一在籍者23名
 (内功労会員1名・広義会員2名)

出席率算定会員20名
 出席者19名(内メイクアップ3名)
 出席率95% ゲスト4名

【特別ファンド】

9月ファンド16,250円 合計990,7534円

「コバタクの世界」

小林拓一郎氏 (ZIP-FM ナビゲーター)

9月第1例会 9月12日(木) ラ・スース ANN



今月の講師は ZIP-FM のミュージックナビゲーターとして「コバタク」の愛称で親しまれて、またバスケット

ボール B リーグのシーホース三河専属ホームコートアナウンサーを努める小林拓一郎氏です。

YMCA の方の前ですからバスケットボールの話を中心にお話しますとはじめられ、中学校の部活で先輩(後に実業団のチームで活躍し全日本のコーチ)のプレイにあこがれバスケットボールにどっぷりとはまり、先輩のチームの追っかけもした。

熱が嵩じて留学したアメリカのオレゴン州立大学で在学中にキャンパスラジオステーションで DJ を始めたのが今の仕事に繋がった。ZIP-FM のミュージックナビゲーター・コンテストでグランプリを受賞し、ZIP-FM のナビゲーターとなった。

その後「アイシンシーホース三河」の専属ホームコートアナウンサーを務めることになり、現在もバスケットボール漬けの毎日です。

親の遺産のぶどう畑があり、子どもたちにバスケットボールの楽しさを体験してほしいとコートを作ろうと整地の作業を始めた。これがなかなか難物で仲間の応援で、取り組んでいます。



今後も管理運営についてはいろいろ困難があると覚悟をしています。今、中区千代田(中警察署の南側)にカフェ

スタンド Pharmacy Coffee Lab (ファーマシーコーヒーラボ) を今年の7月にオープンしたのでバスケットボールが大好きの方と、バスケットボールの楽しさを語り合いたいと思っています。

※講師の小林さん(コバタク)にはお忙しいなか、卓話をお願いし、快く引き受けていただき感謝いたします。また、中部部長公式訪問で小林滋記中部部長及び荒川文門中部書記、杉山弘時中部会計、都築正和南山クラブ会長が出席いただきました。



簡潔、明瞭な「小林中部部長公式訪問挨拶」

(山村喜久・記)

* * * * *

=第25回世界食糧デー名古屋大会=

~ちきゅう大家族・75億人の食卓~

名古屋クラブの西村清さんが実行委員長の名古屋大会が10月19日(土)13:30~南山大学G27教室で開催されます。World Food Day(世界食糧デー)は国連が定めた世界の食糧問題を考える日で毎年10月16日で、世界の飢餓や食料の不均衡な分配などの問題を考える日です。講演とゴスペルの演奏、入場無料(募金あり)です。

阪和部会に出席しました。 鈴木一弘

9月16日(月・祝)阪和部会に出席しました。名古屋東海のメンバーとして紹介され、大阪YMCAの高校生ボランティアクラブ iCOSY(アイコジー)の顧問として、東ティモール産のフェアトレードコーヒーの試飲と寄付のブースで活動してきました。

(81杯、8,500円の売り上げ)



(大阪泉北の皆さんと) (iCOSYのメンバーと)

第 23 回中部部会、93 名の参加で開催

9月8日(日)12:30~17:00、名駅西の名鉄ニューグランドホテルでワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部の第23回中部部会が開催された。

部会に先立ち開催された第2回中部評議会では柴田洋治郎直前部長、浅野猛雄直前会計から前年度の活動報告と会計報告があり、承認。小林滋記中部部長、杉山弘時中部会計から今年度活動計画と予算案が提案され承認された。続けて次期における次々期部長とホストクラブについて協議され、結論は持ち越されたが、ほぼ名古屋クラブから選出される方向がだされた。



部会のホストクラブは名古屋南山クラブであるが、今の南山クラブのメンバーは7名で、とても手が足りない状況で、受付など名古屋クラブが応援。中部のクラブではメンバー数の少ないクラブもあり、今後の部会開催のホストは一つのクラブに任せないで各クラブが互いに助け合って準備をしないといけないと思った。

部会は小林部長の開会宣言で始まり、川本龍資名古屋 YMCA 理事長(名古屋クラブ)の聖書朗読と開会祈祷、93名の参加者がワイズソングを斉唱。



部長挨拶と出席の西日本区役員、中部役員の紹介のあと参加各クラブが紹介された。中部以外からの参加は16クラブ35名のワイズメンです。

部長挨拶のなかで遠藤通寛直前西日本区理事か

ら名古屋東海クラブの池野輝昭直前会長にたいして過日開催された西日本区大会で表彰(ブースター賞)されたメダルが伝達された。



第2部の講演は「この長寿社会に音楽療法ができること」と題して東海大学教養学部准教授の近藤真由氏のお話と「TRIO LUCE」の演奏。



南山クラブの荒川文門さんの菊里高校の教え子です。

第3部の会食・懇親会は会場を代えて賑やかに楽しく、クラブの枠を越えて交流の時でした。



・誕生日おめでとうございます！

山村喜久ワイズ 10月15日
真鍋孔透ワイズ 10月30日

・10月はBF・EF強調月間

「豊かな人生を、思いを同じくする仲間と共に」
西日本区国際・交流事業主任
前田香代子ワイズ（熊本ジェーンズクラブ）

9月第2例会報告 9月19日（木）19:00～

会場 YMCA 出席 15名 下記事項の報告・協議
を行いました。別送の記録を参照ください。

① 10月第1例会：10月10日（木）
会場：ラ・スース ANN 担当：大島孝三郎ワイズ
講師：志水昌一氏（足と靴の科学研究所代表）

② 9月報告

9月第1例会：9月12日 ラ・スース
9月第2例会：9月19日 YMCA
中部部会&中部評議会：9月8日 名鉄ニュー
グランドホテル
名古屋地区会長連絡会・理事懇談会：9月11日
名古屋YMCA大会：9月28日 ルブラ王山

③ 今後の予定

10月

国際協力街頭募金：10月6日（日）栄
秋の根の上まつり：10月14日（月・祝）
10月第1例会：10月10日（木） ラ・スース
10月第2例会：10月17日（木） YMCA
YMCA南山バザー：10月27日（日）
十勝じゃがいもファンデ：今年度は取り止めた

11月

DBC交流会：11月9日～10日会場・奈良（奈良・
御殿場・東海3クラブ交流会）
チャリティーラン：11月2日・名城公園
11月第1例会：11月14日 ラ・スース
卓話と交流
11月第2例会：11月21日 YMCA

12月

クリスマス例会：12月8日、会場ラ・スース決
定
クリスマスカードコンテスト表彰 12月14日
クリスマスキャロル 12月21日・名古屋駅前

④ その他

次期会長・次期主査の確定の件は持ち越し。

例会日ラ・スースの会場食事代改訂を承認した。

名古屋東海リレー投稿 — 3 —

「異国語が罷り通る個性の時代？」

池野 輝明

三年程前の賀状で苦言を呈する一文を認めましたが、今や当時を凌ぐ異国語の乱用が目につき、苦々しい思いで一杯です。取り立てて必要もないのに、やたら多用する場面に遭遇するにつけ違和感を覚えるのは小生一人ではなからう思います。当人は知識、教養をこれでもかとひけらかして自己満足に陥っているとしか思われてなりません。

昨今、「自立の時代」が重要な鍵言葉となり、自立のためには自己決定が大切であるといわれるものの、何でもかんでも右に倣えでは、ただ単に周囲の状況に遅れたくないだけの話であり、それが個性とは片腹痛い思いです。もちろん報道機関にもそれ相応の責任はあろうかと思いますが・・・？ 兎も角も、古来、立派な国語が存在する我が国において、なぜそこまでして、異国語を用いる必要があるのか理解に苦しむばかりです。

久しく「国の言語はその国の背骨である」と言われてきましたが、今一度、考え直すべき時が来たように思われます。幸いにも、惟、浅学非才の身なれば、この先ともに周囲に感わされることなく、時流に乗れなくとも、頑ななまでに母国語本位に努めてまいり所存であります。向後ともに変わりませぬご厚誼を願ってやみません。

Have a nice day ?



◆2019～2020年度クラブ役員

会 長：山村喜久 書記：太田全哉 直前会長：池野輝昭
会計：浅野猛雄 特別会計：橋爪良和

◆2019～2020年度西日本区委員・中部役員

西日本区JWF管理委員：橋爪良和、
直前中部部長：柴田洋治郎、
中部EMC主査：鷲尾文夫

◆広義会員：浅井秀明・鈴木一弘

功労会員：野村秋博